



十勝支部 支部長  
谷川 秀治

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様へ新年のご挨拶を申し上げますとともに、日頃、十勝支部に対し、数々のご支援を賜りましたことを、厚く御礼申し上げます。

昨年の支部業務活動として、約40年ぶりの民法改正に伴い改正相続法及び相続税に関する研修会を重点研修として2回、国際業務を1回行い支部会員の関心の高さを感じました。

又、帯広中心街活性化事業への協力参加、秋の交通事故抑止総決起大会へ参加し、地域貢献と広報活動の両面で成果を得ました。毎年実施している無料相談会事業では、他土業との共催で3回実施し、多数の地域住民の来場をいただき事業の定着を実感しています。

12月には、かねてより帯広市と協議をかさねておりました「災害時における被災者支援のための行政書士業務に関する協定」に関する合意と協定を行い、災害時の会員の派遣及び窓口業務の支援等を行うものです。

我々行政書士は「まちの法律家」として国民の権利を守る土業とし、国民とともに存在する職業との使命と自覚をもって実行可能な支援を行いたいと思えます。

今日の経済・社会情勢の不安定化している現状において、我々行政書士を取り巻く環境はさらに厳しさが増すことも予想されますが、志をもって入会される会員が希望のもてる行政書士のありかたを実感出来るよう、支部会員及び役員一丸となり本年も活動してまいります。

結びに、会員皆様のご多幸とご繁栄を心よりお祈り申し上げ新年の御挨拶と致します。



苫小牧支部 支部長  
土井 光博

新年明けましておめでとうございます。令和2年を迎え、全道の会員の皆様におかれましては、益々のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年は天皇陛下がご即位され、新しい令和の時代がはじまりました。また、ラグビーワールド杯の日本開催。代表選手達の活躍に感動を受けました。悲しい出来事もたくさんあったと思います。豪雨や台風などの自然災害、首里城の火災、高齢者による交通事故などです。

苫小牧支部の事業につきましては、支部理事の方々や会員の皆様のご理解、ご協力のおかげで順調に運営する事が出来ております。予定しておりました、支部研修会や行政書士業務のPR活動、毎月定時開催している無料相談会等の事業も無事消化する事が出来ておりますことを、感謝申し上げます。毎年10月に開催している「くらしの手続無料相談」においても今年度も、たくまくんが大人気でした。

令和2年度の方針については、無料相談会等を通じて、行政書士の周知に努める他、会員の要望に合うような研修内容にして、多くの会員が参加できる研修会にしたいと思っています。

新しい時代が始まり、令和2年度が会員皆様にとって、さらなる飛躍の年でありますよう、ご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

